

河川砂防技術研究開発公募(地域課題分野)平成22年度採択テーマ

事後評価結果

研究テーマ名	研究代表者	評価
河道内ガタ土の堆積メカニズムと水際植生管理に関する調査研究(研究期間:H22年～H24年)	佐賀大学 山西 博幸	B
<研究概要> <p>本研究は、有明海沿岸特有の潮汐により生じる長い感潮区間でのガタ土堆積と本水域に広く繁茂するヨシ植生の実態を把握し、治水及び環境に配慮した適切な河道断面の確保と河川生態系維持を実現するための新たな河川管理手法の提案を目指したものである。本研究における成果は、ここで対象とする六角川水系のみならず、有明海に河口を持ち同様の課題を抱える他河川においても活用が可能と考えられる。</p>		
<事後評価コメント> <p>河川感潮区間における粘着性堆積物であるガタ土の堆積メカニズムを明らかにするとともに、トレンチと地中に埋設した遮蔽板を組み合わせた河道内のヨシの植生管理を提案するなど、研究の目的は概ね達成され、研究成果があったといえる。 今後は、ヨシに関する既存の研究結果も踏まえた河道管理への応用や、土砂管理の視点から、河道内のガタ土堆積抑制と適正管理の方策につながる知見となることが期待される。</p>		

※評価基準

- A: 研究目的は達成され、十分な研究成果があった
- B: 研究目的は概ね達成され、研究成果があった
- C: 一定の研究成果があった
- D: 研究成果があったとは言い難い